

# 憲法審査会 ようやく開催へ

【憲法改正】立憲民主・枝野幸男代表「安倍政権は信用できず。改憲論議の前提を壊した」

2018.3.24 20:22

新党「立憲民主」結成



立憲民主の枝野幸男代表＝16日午前、東京・永田町の参院議員会館（高橋良雄撮影）

立憲民主の枝野幸男代表は24日、自民党が全国幹事長会議の関連会合で憲法9条改正を含む改憲案を提示したことに関し、安倍晋三政権で改憲論議はできないとの認識を示した。「公文書改竄する政権を信用できるはずがない。憲法を議論できる前提を壊したのは、安倍首相本人だ」と仙台市内で記者団に語った。



## 立民 安住氏“自民独走し憲法改正議論急ぐなら審議応じず”

2020年10月14日 15時04分

憲法改正に向けた自民党の起草委員会が、年内に具体的な条文をまとめたいとしていることについて、立憲民主の安住国会対策委員長は、自民党が独走して議論を急ぐのなら、国会の憲法審査会での審議には応じられないという考えを示しました。

自民党は13日、憲法改正に向けた起草委員会で「自衛隊の明記」や「緊急事態対応」など、党の4項目の改正案について、年内に具体的な条文をまとめたいとして、議論を進めていくことを確認しました。

安倍政権下では枝野幸男が『安倍政権では改憲論議できない』と議論拒否し、菅政権では『自民が他党を無視し独走なら論議出来ない』と自民党のせいにして、  
「自民党と野党第1党の立憲でコンセンサスをつくりながら丁寧に進めたい」と他野党を軽視。  
理由をつけて審議妨害する立憲は恥を知るべき

一面新聞

令和2年  
11月13日  
(金)

発行者



DAPPI

第155号



## 報道回想録

### 虎ノ門ニュース（2020年11月10日 DHCテレビ） トランプ大統領の拉致問題解決の取組みを報じないTV



11月10日に放送された虎ノ門ニュースで米国大統領選でトランプ大統領を目の敵にしてる日本のマスコミに対して救う会会長の西岡力氏と作家の百田尚樹氏が苦言した。

百田氏が「トランプ大統領は日本の拉致被害者に物凄く心を砕き、金正恩にも厳しい迫及をした。こんなことをやってくれた米国大統領は居なかった」とトランプ大統領が拉致問題解決に努力されてきたことに触れると、西岡会長は「トランプ大統領は4年間の任期の中で2回も拉致被害者家族と面会し、国連総会での演説でも横田めぐみさんにも言及して下さった。そして金正恩と2回首脳会談したが両方で拉致問題解決を迫り、2回目の会談では話を逸らした金正恩に対して最追求し金正恩から意味のある回答を引き出すなど、拉致問題解決に真剣に取り組んでくれた。また有本さんには『あなたは勝利する』と直筆の手紙をくれた」とトランプ大統領が拉致問題解決に尽力をつくしてくれたと証言。

これらをうけ百田氏は「地上波メディアは政策上のイデオロギーで反トランプかもしれないが、TV局のディレクターやプロデューサーはトランプ大統領がやってきた拉致問題解決の取組を知ってるのか？知ってるならこれだけ露骨に反トランプは出来ない」と怒り心頭だった。

## 注目のインターネット情報

### 役割を放棄したメディア



石平「特定の人を当選させるために報道をやってる米国メディアはメディアとして自殺してる。日本も同じで一部メディアは本当に大事な事実は伝えずに、しょうもないことで騒ぐ。メディアが役割放棄し事実を伝えないのは民主主義の危機」

メディアは中立のふりして報道しない自由で偏った意見を押し付ける



2020年11月9日（虎ノ門ニュース）